

第5回世界湿地都市ネットワーク市長会議の新潟開催について

◎世界湿地都市ネットワーク市長会議について（概要）

- ・ラムサール条約の湿地都市認証を受けた都市（R8.9月時点、27か国74都市）による国際会議。
- ・湿地都市間の交流やさらなる情報発信を目的として、毎年開催しており、日本では初めての開催。

1 新潟開催について

- ・会議名 第5回 世界湿地都市ネットワーク市長会議（※）
- ・日 時 令和8（2026）年11月30日（月）～12月2日（水）の3日間
- ・会 場 朱鷺メッセ（中央区万代島）、ほか市内の湿地
- ・参加者 湿地都市認証を受けた都市の代表者、ラムサール条約の関係者など（国内のオブザーバー都市を含めて150人程度の見込み）

（※）これまでの開催都市

- 第1回（2019年）スンチョン市（韓国） 第3回（2024年）東営市（中国）
第2回（2023年）アミアン（フランス） 第4回（2025年）タタ（ハンガリー）

2 会議内容（予定）

- ・会議全体について傍聴ができるようにし、関係者のみではなく、市民の皆さまが参加できる開かれた会議とする予定

【1日目】11月30日（月）	【2日目】12月1日（火）	【3日目】12月2日（水）
・開会式 ・基調講演、全体発表 ・パネル等展示ブース ・歓迎夕食会	・分科会、座談会 ・パネル等展示ブース ・ネットワーク総会（決議等） ※「（仮称）新潟宣言」の提案 ・閉会式	●フィールドビジット（市内視察） ・佐潟、福島潟など市内の湿地 ・新潟市歴史博物館 ・ハクチョウ観察 など ・二都市間会議（ディスカッション）

3 協力依頼

会議の円滑な運営と本市の潟・湿地の魅力発信のため、以下の業務について、各部区のご協力をお願いします。各部区の派遣職員数などの詳細については、後日正式な依頼文書を発出させていただきます。

① 会場内展示ブースの設置

- ・本市の潟・湿地に関連した魅力発信や部区の出展などのパネル展示

② 協力職員の派遣

- ・会場内や駅、空港での問い合わせ対応や学生ボランティアのサポートなど
- ・佐潟や福島潟などの市内視察（3日目）における現場対応

湿地とともに生きる未来

Living with Wetlands



第5回

世界湿地都市ネットワーク 市長会議

5th Roundtable of Wetland City Mayors

2026.11.30(月) → 12.2(水)

会場 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 他

一般
入場可

NIIGATA

主催 新潟市 共催 ラムサール条約東アジア地域センター (RRC-EA)



世界の湿地都市が 新潟に集まる

第5回世界湿地都市ネットワーク市長会議
5th Roundtable of Wetland City Mayors

世界湿地都市ネットワーク 市長会議とは

ラムサール条約の湿地都市認証を受けた都市（27 か国 74 都市（R8.9 現在））による国際会議です。湿地都市間での交流やさらなる情報発信を目的として年に 1 回「市長会議」を開催しており、日本では初めての開催となります。

湿地都市認証とは

ラムサール条約の理念である「湿地の保全や賢明な利用の推進」および「都市のブランド化」を図ることを目的とし、地域関係者の参加や環境教育など様々な国際基準に該当する”都市（自治体）“に対して認証を行うものです。国内では新潟市、出水市（鹿児島）、名古屋市の 3 市が認証を受けています。（R8.9 現在）

会議テーマ

湿地とともに生きる ～ Living with Wetlands ～

湿地とともに生きる未来を実現するため、世界の湿地都市がともに考え、行動することを目指します。

会議プログラム

日程	会場	内容
11月30日(月)	朱鷺メッセ	開会式、基調講演、ポスター発表、全体発表、歓迎夕食会、展示ブース
12月1日(火)	朱鷺メッセ	テーマ別分科会、座談会、ネットワーク総会、閉会式、展示ブース
12月2日(水)	市内の湿地や 関連施設	フィールドビジット（市内湿地視察）、二都市間会議

市民の皆さまも参加できます

会議の内容は AI 等により通訳され、主要なプログラムは一般公開します。パネル展示など多くの市民や関係団体の皆さまから参加いただける会議ですので、ぜひ会場でご体験ください。

※歓迎夕食会やフィールドビジット、二都市間会議など一部を除きます。



問い合わせ

新潟市環境政策課

TEL：025-226-1356

メール：kansei@city.niigata.lg.jp



詳しくはこちら



会場の詳細は
こちら